

CMSI Seminar オーガナイザー  
位高 啓史 (医学系研究科)

去る 2011 年 7 月 26 日 (火)、CMSI-GCOE セミナーが学内・外の参加者を多数集めて開催されました。本セミナーは 2008 年 7 月より実施されているグローバル COE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション(CMSI)」(拠点リーダー：片岡一則教授)の一環として企画、開催されています。

今回のセミナーは、Harvard 大医学部マサチューセッツ総合病院 (MGH) から、藤崎護士先生をお招きして、**In vivo imaging of Tregs providing immune privilege to the hematopoietic stem cell niche** のタイトルでお話いただきました。

藤崎先生は 6 年前に単身渡米されたあと、一貫して **in vivo** 共焦点イメージングによる骨髄幹細胞の生体内観察に努力して来られました。その集大成として、2011 年 4 月に論文が見事 **nature** 誌に **accept** され、幹細胞ニッチの研究に新しい地平を拓くものとして大変注目されています。今回は文字通り日本への凱旋という形で、このホットなお話を流暢な英語で熱く語っていただきました。

実は先生は CMSI 前身の「医療ナノテクノロジー人材養成ユニット」から行われている、ボストン MGH への夏期短期留学プログラムの第一期生です。短期留学をきっかけに、先生の医師としての医学知識と経験、MGH の卓越したイメージング技術、そして何より先生の不断の努力とが、融合して見事花開いた実例として、参加学生にとっても大変印象深いセミナーになったと思います。ボストンでは例年 CMSI からの留学生も多くお世話になっています。先生の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。